

産衛だより

個人ばく露測定に関する委員会
第 4 回委員会議事要旨

日本産業衛生学会 産業衛生技術部会
個人ばく露測定に関する委員会
第 3 回委員会議事要旨

日時・場所：2013 年 3 月 27 日（水）15 時～17 時・EMG マーケティング合同会社 会議室

出席（敬称略）：橋本, 山田, 名古屋, 保利, 熊谷, 中原, 田中, 村田

日時・場所：2013 年 2 月 20 日（水）13 時～15 時・EMG マーケティング合同会社 会議室

出席（敬称略）：橋本, 山田, 名古屋, 保利, 熊谷, 中原, 村田

1. 委員会の紹介と議事要旨の公開
 - ・逐次, 部会 HP および産衛誌へ公開する.
2. 測定結果の評価方法－管理区分について
 - ・一般的には, X_{95} (分布の 95% 上限値), または Ma (算術平均値) を OEL と比較して, 管理区分を設定する. 一般に, $X_{95}/Ma \approx 3$ である. OEL の何%と比較するかがポイントとなる.
 - ・AIHA, EU 規格, 英・蘭法ではいずれも, 「 Ma (または 1 点測定値) < OEL 」で「安全」とはしていない.
 - ・AIHA, 英・蘭法では, X_{95} と OEL の比較が基本にあり, Ma (または測定値そのもの) と比較するより, 安全サイドの考え方となっている.
 - ・「管理 2」で「改善の努力」は不十分ではないか. 確率的に, 作業機会の半数近くが OEL を超えるケースが発生するため.

検討結果

- ・新たな管理区分 (計 6 区分) を提案
- ・「管理区分 1」を 1A, 1B, 1C (今後 2 区分に統合する可能性もある), 「管理区分 2」を 2A, 2B とする. 区分の定義 (意味) を下表の通りとする.
- ・一つのポイントは, 「 $(OEL \times 50\%) < Ma$ 」の場合に改善必須となることである.
- ・管理区分 1A, 1B, 1C は, 再測定の頻度の判断などに活用できる可能性がある (例: 1A であれば頻度が最小でよい等). 具体的な活用法は後日, 再測定の頻度などの考察時に検討する.

区分	定義	判定
管理 1A	$X_{95} < (OEL \times 10\%)$	極めて良好
1B	$X_{95} < OEL$ かつ $Ma < (OEL \times 10\%)$	十分に良好
1C	$X_{95} < OEL$ かつ $(OEL \times 10\%) \leq Ma$	良好
管理 2A	$OEL \leq X_{95}$ かつ $Ma \leq (OEL \times 50\%)$	現状の対策の有効性を精査する. 更なるばく露低減に努める
2B	$OEL \leq X_{95}$ かつ $(OEL \times 50\%) < Ma \leq OEL$	ばく露低減策を行う
管理 3	$OEL < Ma$	ばく露低減策を速やかに行う

1. 情報共有
 - ・中災防, 「個人ばく露測定に関する委員会 (2012 年度)」の報告書について
 - ・5 月の日本産業衛生学会での部会専門研修会における中間報告会について
 - ・欧米の個人ばく露測定に関する情報
2. 1 シフト (8 時間) 測定での測定時間の短縮 (8 時間未満の測定) について
3. 個人ばく露濃度の日間変動の考慮に関して (事前説明の一部のみ)

検討結果—測定時間 (1 シフト) について

- 1) 測定は原則 8 時間 (またはできるだけ近い時間) とする.
 - ・事前調査では 1 日内の作業の変化などが十分把握できない可能性があるため
- 2) 時間短縮は可能とする.
 - ・作業場調査の結果, 状況・作業が安定している場合に限る. 時間短縮の理由は記録しておく.
 - ・時間短縮の理論的な根拠としては, 日内変動の $\sigma = 3.4$ (60 分平均値の変動の 90% 上限信頼値) を使う方法がある.
 - ・最小測定時間は原則 2 時間とする.
 - ・測定時間が短い場合, 8 時間値の不確実性を考慮した換算係数として Larsen 式の考え方が使える.
 - ・例: 2 時間測定では結果を 2 倍する. (式または表を示しておき使う事が可能)
 - ・測定時間が長くなれば, 係数が小さくなるので時間を延ばすインセンティブになりうる.
- 3) 測定者が 2) の方法に機械的に従うこと (換算係数の使用) は避ける
 - ・測定者による適切な裁量で判断できるように, 本報告書作成時に説明, ガイドを行う.
 - ・例: 事前にばく露が小さいことを予測し, 2 時間測定を行い, 結果が予測通りばく露区分で 1A, 1B など安全な領域であれば, 2 時間測定による結果の不確実性を考慮したとしても, なおその対象者群のばく露は十分安全な領域と推定できる.
 - ・熟練していない場合, 最初はまず 2) の方法を十分理解し準拠してもらうのが良いだろう. 熟練に従い裁量で判断してもらう.

個人ばく露測定に関する委員会 第5回委員会議事要旨

日時・場所：2013年5月28日（火）14時～17時・EMGマーケティング合同会社 会議室

出席（敬称略）：橋本，山田，保利，熊谷，中原，田中，村田

1. 情報の共有

- ・厚生労働省環境改善室との意見交換について
山田，橋本委員が改善室の要請により個人の立場で議事経過を説明。

- ・日本産業衛生学会（部会専門研修会）での中間報告会
当日の質疑応答で測定統括者の倫理が話題となった。→当委員会での検討課題に加える

2. 1シフト（8時間）測定での測定時間（8時間未満の測定）

3. 個人曝露濃度の日間変動を含めるか

- ・日間変動分を数値調整すること（作業環境測定のように $\sigma = 1.95$ を用い機械的に調整する等）への疑義—サンプル数が小さい場合は推定統計量（ Ma, X_{95} ）の信頼性が低いので，日間変動を考慮する意味が小さい。区分2Bを設けた結果，安全域になっている。欧米では必ずしも行われていない。測定者を必要以上に制約すべきでない。作業者変動の扱い，および2日間測定で1日目 $n = 4$ ，2日目 $n = 1$ のような場合の扱いは未解決。

- ・作業環境測定と同様に日間変動を扱うことを提案—区分2Bの導入の意味は，旧「区分2」では作業者グループ内の半分近くの者のばく露濃度がOELを超えているのに「ばく露低減に努める」だけになるのを避けるため，日間変動のためのマージンを取っているわけではない。

検討結果

1. 測定時間（8時間未満の測定）について

1) 最小の測定時間は原則2時間とする。

日本産業衛生学会作業環境測定検討委員会での検討でも2時間以上。ただし測定時間の短縮は事前調査の結果，状況・作業が安定している場合に限る。時間短縮の根拠を記録すべきである。十分な調査結果があり，かつ十分な安全域を取って判断する場合は，1h程度の測定も否定はしない。

2) Larsenの変換式（平均時間の変動に対する幾何平均および幾何標準偏差の推定式）の適用

妥当性は実データではほぼ実証されていることから，この考えを8hrまで敷衍する。

2. 個人ばく露測定における「変動」の3要因

- ・異なる日間での作業者一人のばく露の変動
- ・異なる日間での作業場の環境の変動（作業環境測定でいう日間変動に相当）
- ・作業者間のばく露の変動

3. 個人曝露濃度の日間変動の扱い

明確な結論には至らなかったが，一律の数値調整は避けるものの日間変動を念頭に置いて測定を進めることは望まし

い，とのおよその方向性が見られた。議論は第6回に継続した。

個人ばく露測定に関する委員会 第6回委員会議事要旨

日時・場所：2013年7月23日（火）13時半～16時・EMGマーケティング合同会社 会議室

出席（敬称略）：橋本，山田，保利，熊谷，田中，村田

検討結果—個人曝露濃度の日間変動の扱い

- ・日間変動，作業者間変動などの変動について，考慮を行いながらばく露測定を進めることを求めることにする。（本委員会の報告の本文，または補足文書に記載する。）

- ・変動の要因に3種類あること，その概略の大きさを解説する。

- ・単純な数値調整（ $\sigma = 1.95$ など）はしない。

- ・どのように「考慮」するのか，例を挙げるなどして解説する。

- ・例：1日測定で，区分2Aに近い1，または2Bに近い2A，になった場合は，日間変動を考慮すると区分が変わる（悪化する）可能性が大きくなるため，慎重な判断が必要。こういう場合は，（別の日に）追加測定を行う選択肢もある。

- 仮に日間変動（ $\sigma = 1.95$ の調整）を考慮すると，前者の場合， X_{95} が1.36～1.56倍になること（ σ の大きさにより変わる），後者の場合， Ma が1.25倍になることを，考え方の根拠として記述する。

- 但し，これは考え方の根拠（背景）であり，得たデータに機械的にこのような係数を掛けて用いるという意味ではない。

- ・作業者間変動などについても同様な考慮を行うこととする。（1人だけを複数日に渡って測定したケースなど）

- ・なお，似たような「慎重な判断」は，サンプル数が少ない，測定時間が短いといった場合で，ばく露区分が境界に近い場合にも必要となるだろう。

第 87 回日本産業衛生学会 (第 5 報)

第 87 回日本産業衛生学会 学会長 萩野景規

※第 87 回日本産業衛生学会に関するプログラムの詳細および学会運営等に関する事項は、学会ホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) を参照下さい。定期的な確認を宜しくお願いいたします。

1. 会 期：学会：平成 26 年 5 月 21 日 (水)～24 日 (土)
特別研修会：平成 26 年 5 月 25 日 (日)

2. 会 場：岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)：
岡山県岡山市北区駅元町 14-1
岡山シテイミュージアム：岡山県岡山市北区駅元町 15-1 他

3. 学会長：萩野景規 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
公衆衛生学分野 教授)

4. メインテーマ：産業保健：原点から未来へ
サブテーマ：抗少子化及び抗加齢化

5. 企画概要 (予定)

特別講演：

・「時代をよむ」田原総一郎 (ジャーナリスト)

教育講演：

・「～産業衛生の原点に立ち返る～「大原孫三郎・暉峻義等
～彼ら二人が考えたこと、その未来～」Part 1」

大原謙一郎 (大原美術館, 倉敷中央病院 理事長)

・「～産業衛生の原点に立ち返る～「大原孫三郎・暉峻義等
～彼ら二人が考えたこと、その未来～」Part 2」

酒井一博 (公益財団法人 労働科学研究所 所長)

・「睡眠障害の弊害とその治療」

伊藤 洋 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座 教授)

メインシンポジウム：

・「抗加齢・健康長寿に向けた産業医学の新展開」

・「抗少子化について (仮題)」

・「National Health Index (NHI) の設計—その社会医学事
業展開を目指して」

(指定発言コメンテーターとして加藤勝信 (内閣官房副長
官) の登壇を予定)

合同シンポジウム

・「アスベスト問題：予防・診断・治療を科学する」

シンポジウム等

・「職場における身体活動支援」

・「これからの職場改善～問題解決型 4 部会合同セミナーの
アプローチ～」

・「高齢社会、日本が求める産業保健の進め方～日本は働く
ことのできる高齢者をつくる時代を迎えた～」

・「職域メンタルヘルス困難事例への対応 —精神医学の専
門家と語る—」

・「健康でいきいきと働くために：職場のメンタルヘルスの
これまでとこれから」

・「個人ばく露測定の実施のためのガイド (産業衛生技術部
会「個人ばく露測定に関する委員会」報告)」

・「ロドデノール含有化粧品と加水分解小麦含有石鹸による
健康被害が示す職業アレルギーの新たな課題 (仮題)」

・「これからの健康科学」～産業保健におけるダイバーシ
ティ・マネジメントストラテジー～」

・「職場におけるこれからの喫煙対策」

・「職場における発達障害者への対応・支援—産業保健の立
場から—」

・「職域における認知療法・認知行動療法の活用の実践」

・「大学における教育研究の基盤としての安全衛生管理活動」

・「産業保健へ新たなバイオマーカーの探索」

その他、一般演題 (ポスターおよび口演)、総会、各種の部
会・委員会、学会奨励賞受賞講演、研究会、ランチョンセミ
ナー、企業展示、書籍展示なども予定しています。

6. 参加登録

学会参加費、出題費、懇親会ならびに特別研修会参加費の事
前登録は、第 87 回日本産業衛生学会ホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にて扱います。

なお、本年度は払込取扱票の配布は行いません。Web での
オンライン申込のみの受け付けとなります。払込取扱票によ
るお支払いをご希望の場合、運営事務局 (株式会社共同) ま
で、ファックスまたはメールにて「事前参加登録票」をご請
求ください。原則として登録後の返金はいたしませんので、
ご注意ください。

また、本年度は、事前登録をされた方への事前の参加証・講
演集・ポケットプログラムの配布はいたしません。

会期が近付きましたら事務局より送信いたします。「確認
メール」を印刷いただき、学会当日にその用紙と引き換えに
てお渡しいたします。

詳細は、今後「産業衛生学雑誌」に掲載するか、学会ホーム
ページにて順次公開してまいります。

①学会参加費

事前登録は、平成 26 年 2 月 24 日 (月) まで第 87 回日本産業
衛生学会ホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>)
にて扱います。

筆頭発表者は必ず学会参加費とともに、演題採否の通知後
10 日以内にお支払いください。※事前参加登録の金額にて
扱います。

■学会員

事前登録 (第 87 回日本産業衛生学会 単独)：8,000 円

(締切 平成 26 年 2 月 24 日 (月) まで)

事前登録 (第 87 回日本産業衛生学会と第 84 回日本衛生学会
学術総会の両学会)：

12,000 円 (7,000 円 + 5,000 円) ※学会員限定

(締切 平成 26 年 2 月 24 日 (月) まで)

当日登録：10,000 円 (事前登録の締切以降は当日受付でお支
払いください)

■非学会員

事前登録：9,000 円 当日登録：10,000 円

■学生・大学院生：

事前登録：6,000 円 当日登録：8,000 円

②出題費

1 題につき 2,000 円

筆頭発表者は必ず学会参加費とともに、演題採否の通知後
10 日以内にお支払いください。

③懇親会費 (会員・非会員共通)

事前登録：9,000 円 当日登録：10,000 円

学生・大学院生：8,000 円

※学生・大学院生の当日登録は行いませんので事前に登録し
てください。

④特別研修会 (日時、会場、受講資格、受講料 (事前支払))
詳細については学会のホームページまたは本号に掲載する特
別研修会のご案内 (第 2 報) を御覧ください。

7. 演題申込および抄録原稿受付

一般演題の申込および抄録原稿の受付はインターネットにより行います。(平成 25 年 11 月 11 日(月)開始)。

「研究報告」と「実践報告」に区分して募集します。なお、本年度は、採択されたポスター発表の中から、「優秀ポスター賞」を選出し、学会当日、受賞者の発表並びに表彰を予定しております。

①演題申込および抄録原稿受付の締切

最終締切日：平成 26 年 1 月 20 日(月) 正午 ※時間厳守

②申込方法

原則として、インターネットによるオンライン申込といたします。第 87 回日本産業衛生学会のホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にてご案内いたします。

ただし、オンライン申込が困難な場合、運営事務局(株式会社共同)までその旨をお問い合わせください。

③発表形式

一般演題は全てポスター発表として受け、プログラム委員会により採否の決定を行います。採択された全演題のうち、プログラム委員会により口演が適当と評価された演題は、口演発表していただきます。

なお、口演発表の場合「優秀ポスター賞」の対象にはなりません。もし、口演発表を希望されない場合は、演題申込時にオンライン申込用 Web ページにて、「口演発表を希望しない」というチェックボックスにチェックを入れてください。採否および発表形式は、平成 26 年 3 月上旬までに通知いたします。

④一般演題は、筆頭発表者としては 1 人 1 演題の申込とさせていただきます。

⑤筆頭発表者は、演題申込の時点で日本産業衛生学会の会員である方に限ります。会員でない方は早急に入会手続きを行ってください。入会手続きについては、日本産業衛生学会のホームページ (<http://www.sanei.or.jp/>) を御覧いただくか、下記事務局へご連絡ください。

日本産業衛生学会事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル内

TEL: 03-3356-1536 FAX: 03-5362-3746

ホームページ: <http://www.sanei.or.jp/>

8. 発表方法(一般演題)

【ポスター発表】

ポスターの展示スペースは、1 演題につき、横 90 cm × 縦 170 cm です。左上部の横 20 cm × 縦 20 cm の部分には事務局で演題番号を貼り付けます。右上部(横 70 cm × 縦 20 cm)にタイトル、所属および演者名を、その下に本文を提示してください。

【口演発表】

①口演発表の時間は口演 10 分、討論(質疑応答) 5 分です。

②パワーポイントによる PC 発表のみ可能です(OHP, スライドは不可)。事務局にて Windows7 Microsoft PowerPoint 2003/2007/2010, 解像度 XGA (1,024 × 768) の PC をご準備いたします。Mac で作成したデータは受け

付けられません。

③ PC によるプレゼンテーションは演台にセットされているモニター、キーボード、マウスを使用し、演者ご自身による操作をお願いします。

④発表データの受付方法については、学会ホームページにてご確認ください。

9. 懇親会

会場：ホテルグランヴィア岡山(岡山市北区駅元町 1 番 5)

日時：平成 26 年 5 月 24 日(土) 19 時 00 分より(予定)

※詳細は第 87 回日本産業衛生学会のホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にてご案内いたします。

10. 研修単位の認定

特別研修会以外に、シンポジウムや講演に対して、日本医師会認定産業医制度による単位認定や、日本医師会、日本歯科医師会の生涯学習制度による単位認定を申請予定です。日本産業衛生学会産業看護師：産業看護職継続教育システム・実力アップコースの単位認定を申請予定です。

11. 委員会、研究会等の申込

委員会、研究会等の申込期間は終了いたしました。学会事務局にて日時・部屋割の調整をいたしますが、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

12. 今後のスケジュール概要

演題申込期間：平成 25 年 11 月 11 日(月)～

平成 26 年 1 月 20 日(月)

広告申込締切：平成 26 年 1 月 31 日(金) ※延長あり

機器展示・書籍展示申込締切：平成 26 年 1 月 31 日(金)

※延長あり

学会参加・懇親会・特別研修会事前登録締切：

平成 26 年 2 月 24 日(月)

*詳細は、今後学会ホームページでも順次公開していきます。

13. 宿泊

宿泊申込方法については、学会ホームページに掲載いたします。宿泊を希望される方は、ホームページにて詳細をご確認ください。

14. 連絡先

①学会事務局

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 公衆衛生学分野 内

「第 87 回日本産業衛生学会」学会事務局

担当：汪(わん)

TEL: 086-235-7184 FAX: 086-226-0715

E-mail: sanei87@md.okayama-u.ac.jp

②運営事務局

〒701-0205 岡山県岡山市南区妹尾 2346-1

株式会社共同 MICE 事業部 内

「第 87 回日本産業衛生学会」運営事務局

担当：實金(みかね)

TEL: 086-250-7681 FAX: 086-250-7682

E-mail: jsoh87@wjcs.jp

第 87 回日本産業衛生学会・特別研修会のご案内 (第 2 報)

日本産業衛生学会特別研修会

1. 日 時：平成 26 年 5 月 25 日 (日) 9:00 ~ 16:00 (予定)
2. 会 場：岡山コンベンションセンター (ママカリフォーラム) 岡山県岡山市北区駅元町 14-1
3. 研修単位の認定

日本医師会認定産業医制度 産業医学研修会 生涯研修専門 X 単位申請予定

日本産業衛生学会産業看護師：産業看護職継続教育システム・実力アップコース申請予定

4. メインテーマ 1：じん肺・石綿関連疾患の診断と読影実習 ※9:00 ~ 12:00
座長：岸本卓巳 (岡山労災病院)

- 1) 読影方法の講義 木村清延 (北海道中央労災病院 院長)
- 2) じん肺診断の法令 諸富伸夫 (厚生労働省労働衛生課中央じん肺診査医)
- 3) じん肺読影実習 岸本卓巳, 木村清延, 諸富伸夫, 加藤勝也 (岡山大学病院 放射線科),
名部 誠 (矢掛病院), 藤本伸一 (岡山労災病院)

※じん肺画像診断に関する実地研修を予定しています。

※定員 (150 名) を設けて実施いたします。先着順にご案内いたします。定員 (150 名) を超えた場合はお断りさせていただきますのでご了承ください。

メインテーマ 2：職場の大きな課題である筋骨格系障害およびメンタルヘルス対策の進め方 ※13:00 ~ 16:00

共同座長：宇土 博 (広島文教女子大学大学院), 中谷 敦 (日立製作所水戸健康管理センタ)

- 1) 職場の筋骨格系障害の予防—人間工学対策の進め方— 宇土 博
- 2) 職場のメンタルヘルスの進め方 中谷 敦

※演題名等は変更の可能性があります。

5. 受講料：事前支払

●日本医師会認定産業医制度産業医学研修単位を必要とする学会員

事前登録：8,000 円 / 当日登録：10,000 円

●非学会員：10,000 円

●認定産業医の単位が不要の方：7,000 円

6. 参加申込：学会参加費、出題費、懇親会ならびに特別研修会参加費の事前登録は、第 87 回日本産業衛生学会ホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にて扱います。

尚、本年度は払込取扱票の配布は行いません。Web でのオンライン申込のみの受け付けとなります。払込取扱票によるお支払いをご希望の場合、運営事務局 (株式会社共同) まで、ファックスまたはメールにて「事前参加登録票」をご請求ください。原則として登録後の返金はいたしませんので、ご注意ください。

7. 事前登録の申込締切：平成 26 年 2 月 24 日 (月)

上記締切以降の申込および当日登録のお問い合わせは、運営事務局 (株式会社共同) までお願いいたします。

第 24 回 日本産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会 第 1 報

(同時開催) 第 23 回産業衛生技術部会大会

メインテーマ: 「産業衛生をすべての人々と職場に」

1. 会 期: 平成 26 (2014 年) 9 月 24 日 (水) ~ 27 日 (土)

2. 会 場:

金沢市文化ホール

〒 920-0864 石川県金沢市高岡町 15 番 1 号

TEL: 076-223-1221

石川県文教会館

〒 920-0918 石川県金沢市尾山町 10 番 5 号

TEL: 076-262-7311

(いずれも金沢城公園や兼六園まで徒歩 10 分圏内)

3. 主 催

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会

日本産業衛生学会 産業医部会

日本産業衛生学会 産業看護部会

日本産業衛生学会 産業歯科保健部会

合同開催: 日本産業衛生学会 産業衛生技術部会

4. 企画運営委員会

企画運営委員長: 中川秀昭

(金沢医科大学総合医学研究所 北陸甲信越地方会長)

企画運営副委員長:

亀田真紀

(金沢大学 産業看護部会北陸甲信越地方会幹事)

城戸照彦

(金沢大学 北陸甲信越地方会石川県常任理事)

曾山善之 (曾山歯科医院 産業歯科保健部会幹事)

服部真 (城北病院 産業医部会北陸甲信越地方会幹事)

実行委員長: 服部 真

5. 事務局

企画運営事務局: 金沢医科大学医学部公衆衛生学講座

〒 920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1

TEL: 076-218-8093 FAX: 076-286-3728

E-mail: ncopn24@kanazawa-med.ac.jp

6. 参加費

日本産業衛生学会 学会員

事前登録 7,000 円, 当日参加 8,000 円

日本産業衛生学会 非学会員

事前登録, 当日参加とも 9,000 円

7. 認定制度

日本医師会認定産業医制度, 産業看護実力アップコースの単位を申請予定です。

8. 懇親会

平成 26 年 (2014 年) 9 月 26 日 (金)

18 時 30 分 ~ 20 時 30 分

金沢ニューグランドホテル (金沢市文化ホール向い)

9. 宿泊・交通

ホームページ (<http://www.ncopn24.jp>) で情報を確認して下さい。

10. 主な企画

以下のシンポジウムや講演, 教育企画を検討しています。タイトルはいずれも仮です。皆様からのご意見やご提案をお願いします。

- メインシンポ「産業衛生をすべての人々と職場に: 分散事業場・小規模事業場や請負・派遣・非正規すべてを視野に入れた産業衛生のあり方」
- 基調講演「小規模事業場や非正規労働者の労働安全衛生を向上させるために」
- シンポ「これからのメンタルヘルス対策: 患者さから患者をつくらない生き生き職場づくりへ」

- シンポ「小規模事業場でも出来るわかりやすい有害物管理」
- シンポ「生活モデル時代における産業保健の役割: 産業保健職への提言」
- シンポ「口腔内弱毒菌と全身の健康との関係」
- 講演「社会経済格差と働くものの健康」
- 講演「若い人を育てるメンタルヘルスの観点」
- 講演「睡眠と食欲の科学」
- 集中教育講座「すべて分かる医療機関・介護施設での産業衛生: 有害物管理からこころとからだの健康管理まで」

11. 日 程 (2013 年 12 月時点の予定)

9月24日(水)	講演会場	ポスター会場 展示会場
午後	四部会合同企画 企業巡視セミナー	
夕	企業巡視セミナー討論会	
9月25日(木)	講演会場	ポスター会場 展示会場
午前	企業巡視セミナー発表会	企業展示
午後	講演, 実地研修, 各部会会議・企画	
夕	自由集会	
9月26日(金)	講演会場	ポスター会場 展示会場
午前	基調講演, メインシンポジウム	ポスターセッション, 企業展示
昼	ランチョンセミナー	
午後	シンポジウム, 教育講演	
夜	懇親会	
9月27日(土)	講演会場	ポスター会場 展示会場
午前	シンポジウム, 教育講演, 集中教育企画	企業展示
昼	ランチョンセミナー	
午後	シンポジウム, 集中教育企画	

12. 参加申し込み

次回の第 2 報および近日中に開設するホームページで情報をご参照下さい。

13. ポスター演題申し込み

ポスター発表のみとなります。筆頭発表者は日本産業衛生学会会員に限られ、事前参加登録が必要です。筆頭発表者としては一人 1 演題のみとなります。次回の第 2 報および近日中に開設するホームページで情報をご参照下さい。

14. 委員会, 自由集会

会場を確保しますので、事務局までファックスか E メールでご連絡下さい。会場設営や運営は各自でお願いします。

* 上記内容は変更になることがあります。次回の第 2 報および近日中に開設する第 24 回産業医・産業看護全国協議会のホームページで最新情報をご確認下さい。

平成 25 年度新入会者

[北海道] 荒木敦子, 石原可愛, 太田由紀, 大西浩文, 志渡晃一, 山崎久美子 [茨城] 関戸則子, 三浦 隆, [群馬] 松本光寛 [埼玉] 阿部和治, 関谷貞文, [千葉] 川村 実, 佐藤晴美, 右田雅子 [東京] 穴原静絵, 阿部宏恵, 石田 有, 石橋美智子, 石見忠士, 内田淳子, 尾方純一, 奥瀬敏之, 櫻村修生, 後藤英介, 佐藤由紀子, 下澤淑子 (学生会員), 田中裕子, 玉井 仁, 内藤美生 (学生会員), 仁多見謙一郎, 原 直子, 平井大祐, 藤井健志, 眞壁亜紀子, 武藤 取, 渡邊玲子 [神奈川] 明間勤子, 伊藤貴子, 小森康子, 近藤智子, 佐々木俊明, 高橋裕美子, 高宮義弘, 本橋隆子 [新潟] 渡邊路子 [石川] 野口有美子 [岐阜] 南屋敷美幸 [静岡] 井口真美子, 内海裕子, 亀井達也, 木村玲美, 古村真樹, 土屋陽子, 福島優子, 前田裕子 [愛知] 飯田真智子, 國井千晴, 畔柳 司, 辰巳一裕, 矢嶋伊知朗 [三重] 一尾多佳子 [京都] 岸本知弘, 住田光顯 [大阪] 奥田大造, 城徳昭宏, 竹田龍二, 辻井由紀 (学生会員), 長谷真二, 羽地典子, 吉田雅美 (学生会員) [兵庫] 田中大輔, 中家隆博 [和歌山] 川村小千代 (学生会員), 那須文実 (学生会員) [岡山] 塩田ちよみ, 高月克己, 時實 亮 [広島] 今田貴之 [愛媛] 上山美徳, 加地明代, 貴田晶子 [福岡] 朝長健太, 西浦研志, 溝部都孝, 安永美恵子, 渡邊聖二 [長崎] 竹口和江 [熊本] 澤真由美

第 7 回うつ病リワーク研究会年次研究会のお知らせ

主に気分障害で休職している方を対象に、職場復帰と再休職予防を目的として実施しているリハビリテーションである復職支援（リワーク）プログラムについて研究・啓発活動を行っている研究会です。

日 時：平成 26 年 5 月 30 日（金）～6 月 1 日（日）

会 場：会議・研修施設 ACU

（札幌市中央区北 4 西 5 アスティ 45 ビル 16 階 JR 札幌駅南口徒歩 5 分 地下道直結）

テーマ：リワークプログラムだからできるアセスメント～精度の高い診断を目指して～

プログラム（予定）

担当世話人講演・シンポジウム・産業医・産業保健スタッフ向けプログラム・一般演題（口頭）・ランチョンセミナー・プログラム体験・情報交換会など

参加費：うつ病リワーク研究会会員 事前登録 5,000 円, 当日参加 6,000 円

当研究会の会員でない方 事前登録 6,000 円, 当日参加 7,000 円

事前参加申込方法：第 7 回年次研究会ホームページ

（<http://www.knt.co.jp/ec/2014/utsu-rework07/>）の「参加登録」ページよりお申込ください。

※ HP は 12 月上旬より開設予定です

問合せ先

医療法人社団心劇会さっぽろ駅前クリニック 北海道リワークプラザ

札幌市中央区北 3 条西 4 丁目 1 番地 1 日本生命札幌ビル 3 階

E-mail: utsu-rework@satsueki-clinic.com

※メールにてお問合せください。

参加登録事務取扱

株式会社近畿日本ツーリスト北海道 札幌法人旅行支店

〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 2 丁目 日通札幌ビル 6 階

Tel: 011-280-8855 / Fax: 011-280-2732

E-mail: s-convention-1@or.knt.co.jp

うつ病リワーク研究会ホームページ

<http://www.utsu-rework.org>

平成 26 年度 産業医学調査研究助成事業 助成希望者募集のご案内

公益財団法人 産業医学振興財団

詳細は、当財団ホームページをご覧ください。http://www.zsisz.or.jp/

当財団では、産業医学の振興と職場で働く人々の健康確保に資することを目的に、産業医学調査研究助成事業として、公益財団法人日本中小企業福祉事業財団（略称／日本フルハップ）の助成支援も受け、職場で働く人々の健康の保持や産業医活動の推進等に関する調査研究に対する助成を行っております。

平成 26 年度の産業医学調査研究助成事業では、以下の内容で助成を希望される研究者を募集します。（締切は平成 26 年 2 月末日まで、申請書は当財団 HP からダウンロードできます。）

1 研究のテーマ区分等

(1) 一般研究

○採用予定件数：4 件程度

○研究期間：

1 年間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

○申請資格：

申請者（代表研究者）は 45 歳以下の者（平成 26 年 4 月 1 日時点）で次の①または②に該当すること。

① 産業医又は産業医を含む共同研究グループ。ただし、大学又は研究機関に所属する研究者にあっては、必ず 1 人は事業場で産業医活動を行っている産業医を含む共同研究グループであること。

② 産業医以外の事業場、健康診断機関、作業環境測定機関等の産業保健スタッフ（これらに所属する臨床検査技師、保健師、看護師、作業環境測定士等をいう。）又はこれらの共同研究グループ

○助成金の額：上限 150 万円

(2) 特別研究—中小零細向け指定テーマ

○採用予定件数：1 件

○研究期間：

原則 1 年間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）ただし、必要性により 2 年間で認める場合がある。

○申請資格：

大学又は研究機関で、産業医を含む共同研究グループ。ただし調査研究の遂行のため必要な産業医については、当該大学又は研究機関に所属しない者を招聘しても差し支えない。

○助成金の額：上限 500 万円（1 カ年度につき）

2 連絡先

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-2-11 新倉ビル 3F
 (公財)産業医学振興財団 振興課 (産業医学調査研究助成担当)
 TEL 03-3525-8294 (直通), 03-3525-8291 (代表)
 FAX 03-5209-1020
 URL : http://www.zsisz.or.jp/ E-mail : fukyu@zsisz.or.jp

訂正

産業衛生学雑誌 第 55 巻第 6 号

振動障害の診断ガイドライン 2013

A105 誤：久米正則 正：久米行則

A115 表 7

女性の数値が間違っておりましたので下記の通り訂正いたします。

表 7. 握力検査（瞬時握力）の判定基準

1) 男性

年齢階層	高度異常	異常	正常
30～49	≤ 36	36～43	43 ≤
50～59	≤ 34	34～40	40 ≤
60～69	≤ 29	29～34	35 ≤
70～75	≤ 25	25～30	31 ≤

2) 女性

年齢階層	高度異常	異常	正常
30～49	≤ 21	21～25	25 ≤
50～59	≤ 19	19～23	23 ≤
60～69	≤ 17	17～21	21 ≤
70～75	≤ 15	15～19	19 ≤

①立位で測定する（測定器具は問わない）。②事前に測定する意義を説明し、力を集中してもらうこと。